

みんなで高める地域の防災力

12月16日、自治会連合会は一般社団法人福祉防災コミュニティ協会代表理事を務める鍵屋一氏を講師に迎え、地域の防災力を高めるための講演会を開催し、各地区の自治会長や地域住民など63人が参加しました。

実際に避難した人の多くは、自主防災組織や近隣住民の声掛けがきっかけとなっており、地域の連携が避難行動に大きな影響を与えているとの話がありました。

「近所の人々が避難していないから私もしない」と考えがちですが、突然の災害に冷静な判断ができにくくなる中で、行政をはじめ地域住民の一人一人が声を掛け合うことが命を助けることにつながると学びました。



ワーケーション先に選ばれる町を目指して



12月2日、町は「2022ワーケーションセミナー」を開催し、町議会議員や役場職員、町商工会員や町観光協会員など約30人が参加しました。

ワーケーションとは、観光地や帰省などの休暇先でリモートワークをする新しい働き方のことをいい、セミナーでは、株式会社三菱総合研究所主席研究員で日本ワーケーション協会の顧問を務める松田哲生氏を講師に迎え、今後加速するワーケーションの未来と那須町の可能性についての講義を行いました。

その後、芝浦工業大学の学生が、那須地域の魅力発信や二次交通の改善、高久地区の都市計画マスタープランの3点について考えを発表し、提案内容について参加者とともに活発な意見交換を行い、見識を深めました。

アプリを使って食育を学ぶ

12月21日、千振保育園で大塚製薬株式会社が開発した食育アプリ「スケッチクック」を使った食育講座が行われました。このアプリで子どもたちが描いた食べたいごはんの絵を読み込むと、AIが料理を判別していきいきと動く画像に変換し、その料理だけでは足りない栄養バランスを考えた献立を提案してくれます。

子どもたちは「楽しかった」「またやりたい」と何度も取り組み、絵を描いて遊びながら食育を学びました。



行政ってどんなところ？役場見学



11月30日、黒田原小学校2年生8人は、役場やそこで働く人の様子にふれるため役場を見学しました。庁舎内を1階から4階まで見学し、最後には議場に入り12月議会定例会を傍聴しました。

案内した職員に児童たちは「仕事は何時に始まり何時に終わりますか」「仕事の工夫はなんですか」などたくさん質問し、行政の仕事を熱心に探究する姿がみられました。

防犯防火診断



12月12日、町と那須塩原警察署と那須消防署が共同で、防犯防火診断を実施し、防犯と防火を警鐘するため、町内を消防車やパトカーで巡回しました。

年末安全パトロール



12月8日、町と建設業災害防止協会那須分会那須地区は、事故や労働災害のない安全で快適な職場環境をつくるため、3班に分かれて6カ所の工事現場を巡回しました。

4代目ゆめな就任!!



11月27日、黒田原まちなか広場で黒田原ご当地マスコットキャラクター「クロロとゆめな」の4代目ゆめなの就任式が行われました。

ミニライブで3曲を披露した4代目ゆめなは「先代のゆめなに負けたくない、一生懸命に黒田原地域を盛り上げていきたい」と意気込みを語りました。

タウントップピクチャー

子育て・ほげんだより

生涯学習だより

図書館だより

タウンInformation

カメラスケッチ

みんなの広場

無料相談会・消費の豆知識

カレンダー